

2026年 Klub Zukunft 春の散策会

担当：今中

2026/4/1作成

①日時 4月 4日(土)

②行先 斑鳩の里散策 JR法隆寺駅南口バス停2番乗り場 9:45集合

③スケジュール 歩行距離 約8km

< 散策行程 >

JR天王寺駅	9:15	 →	9:37 JR法隆寺駅	9:54	 →
10:10 法隆寺参道	10:10	→	10:20 法隆寺	11:30	→
11:40 斑鳩神社	11:40	→	11:50 昼食	12:20	→
12:25 史跡三井	12:35	→	12:40 法輪寺	13:10	→
13:20 岡原古墳	13:20	→	13:30 法起寺	13:50	→
14:20 史跡中宮寺迹	14:30	→	15:00 中宮寺	15:20	→
15:35 法隆寺夢殿	16:00	→	16:20 法隆寺参道	16:27	 →
16:35 JR法隆寺駅			JR法隆寺駅	17:11	 →
17:34 JR天王寺駅		 →	17:54 JR大阪駅		

< 斑鳩（JR法隆寺駅）迄の交通 >

往路	JR天王寺	9:15	JR大阪	8:57
	↓ JR大和路線	↓	↓ JR大和路線	↓
	JR法隆寺駅	9:37	JR法隆寺駅	9:37
復路	JR法隆寺駅	17:11	JR法隆寺駅	17:11
	↓ JR大和路線	↓	↓ JR大和路線	↓
	JR天王寺	17:34	JR大阪	17:54

④費用

JR天王寺～法隆寺	JR	片道 @490
JR大阪～法隆寺	JR	片道 @660
法隆寺前～JR法隆寺駅		片道 @220
法隆寺拝観料(西院伽藍、大宝藏院、東院伽藍共通)		@2000 (団体 `@1600)
法起寺拝観料		@500
法輪寺拝観料		@500

⑤準備物 雨具 飲み物 弁当 その他歩ける服装

⑥コース概要

●法隆寺 聖徳宗総本山

用明天皇のご遺志を継いで、607年に推古天皇と聖徳太子によって建立されたと伝わる。世界最古の木造建築物と数多くの寺宝を持ち、わが国最初の世界文化遺産として1993年に登録されたことでも有名です。

●斑鳩神社

朱雀天皇の天慶年間（938～947）に、興福寺僧で法隆寺別当を兼務していた湛照僧都が菅原道真を祀ったとされ、またこの湛照僧都は、菅原氏の後裔といわれています。

●法輪寺

法輪寺は、斑鳩の北方・三井（みい）の地に位置することから「三井寺」とも呼ばれている。622年に聖徳太子の病氣平癒を祈願して、その子山背大兄王と孫の由義王が建立したと伝わっています。創建当初の三重塔は、1944年（昭和19年）落雷により焼失し、現在の塔は、作家幸田文氏らの尽力により、1975（昭和50年）に再建されたもので、再建工事に携わったのは「最後の宮大工」と名高い西岡常一棟梁です。三重塔は、法隆寺五重塔・法起寺三重塔と並び斑鳩三塔と称されています。

法輪寺 妙見堂

秘仏妙見菩薩立像を安置する。

妙見菩薩は、北辰尊星王（ほくしんそんしょうおう）ともいい、北辰（北極星）を仏格化した「星の仏さま」です。宇宙の中心・根源とされ、星々のなかで最高位にあり、五穀豊穰・天下泰平・一族繁栄・病氣平癒・息災延命・商売繁盛・交通安全・学業成就・縁結びなど、あまねく願いをお聞きくださる諸願成就の仏さまです。



●史跡三井

三井は、法輪寺旧境内のエリアにある井戸で、聖徳太子が掘った三つの井戸の一つである「赤染井」と伝えられています。

●岡原古墳

法輪寺の南東200mほどのところにある岡原古墳は、地元では「岡ノ原」と呼ばれる小山で、聖徳太子の長子・山背大兄王の墓所との伝承があります。

一見、前方後円墳にも見えますが、実際には頂上部のみの径30m程度の円墳で「富郷陵墓（とみさとりょうぼ）参考地」として、宮内庁の管理地になっています。

●法起寺 聖徳宗 本尊 十一面観音菩薩像

法起寺は別名、岡本尼寺、岡本寺、池後寺、池後尼寺と呼ばれている。

法起寺は、聖徳太子が法華経を講説した岡本宮を、息子である山背大兄王が、太子の遺言で寺に改めたと伝わっている。創建(706年)当時の建造物である三重塔は、現存する世界最古のもので、法隆寺伽藍と共に世界文化遺産に登録されています。



●中宮寺

中宮寺は、聖徳太子が母の穴穂部間人皇后のために建立されたと伝えられている、わが国最古の尼寺です。本堂に安置されている国宝の木造菩薩半跏像は、神秘的なアルカイックスマイルをたたえ、世界三大微笑のうちの一つと名高い、優しい仏さまです。

●法隆寺夢殿

聖徳太子が住まれた斑鳩宮の跡地で、太子の死後、遺徳を偲んで建立されました。夢殿は、法隆寺東院伽藍の中心となる八角円堂の建物です。内部には、本尊の国宝救世観音像が、長い間秘仏として人々の目から閉ざされてきましたが、明治17年に開扉されました。堂内には、東院の復興に尽力した行信僧都と、平安時代初めに東院を修理した道詮律師の座像があり、いずれも国宝に指定されています。